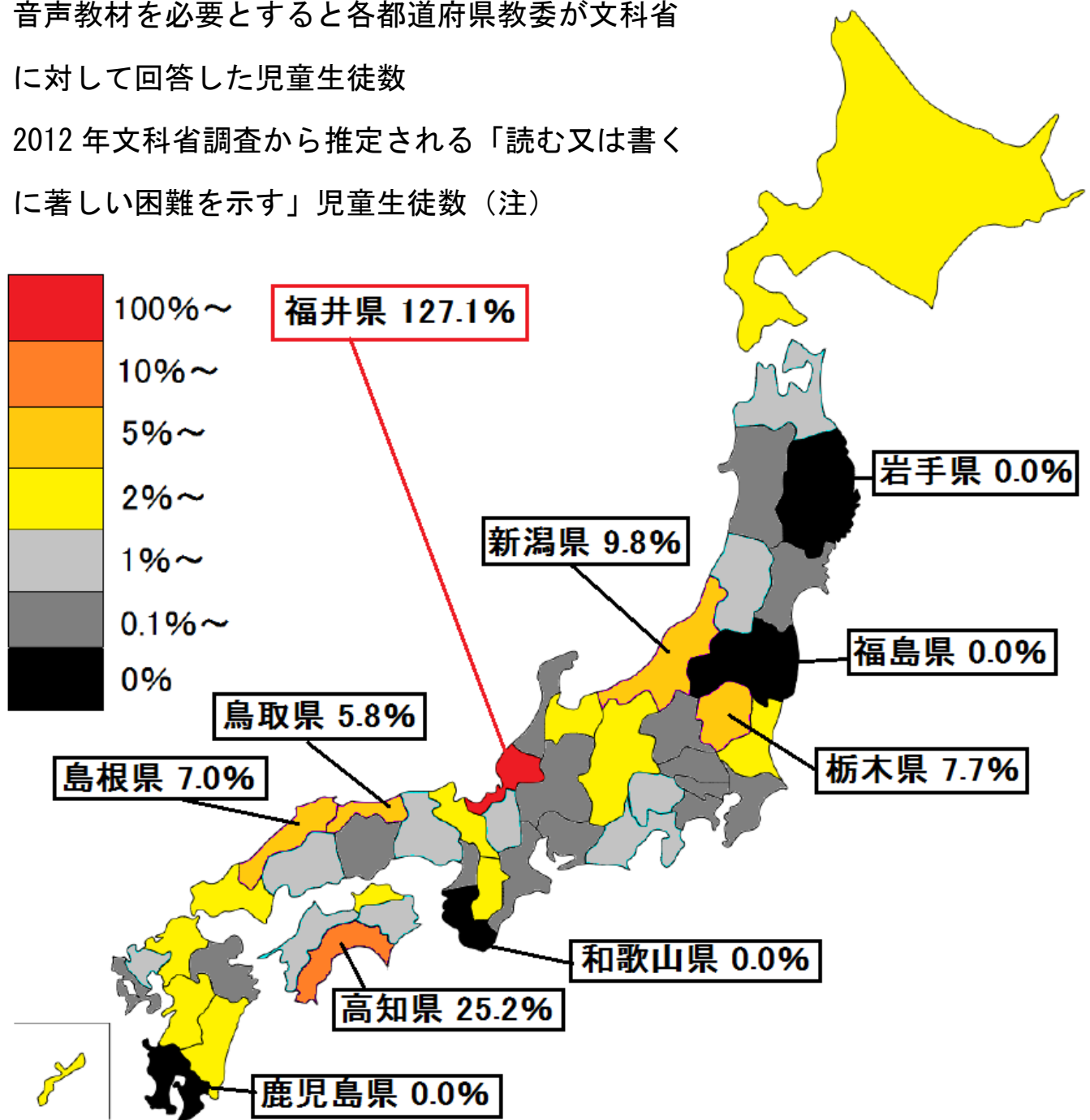


音声教材を必要とする児童生徒数の把握率(2016年12月)

$$a/b \times 100\%$$

- a 音声教材を必要とすると各都道府県教委が文科省に対して回答した児童生徒数
- b 2012年文科省調査から推定される「読む又は書くに著しい困難を示す」児童生徒数(注)



(注) 文科省(2012)「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果」によれば、「知的発達に遅れはないものの「読む」又は「書く」に著しい困難を示す」児童生徒の割合は、全体の2.4%であると推定されている。